

通信文化 2018年2月号

公益財団法人
通信文化協会
2/5 発行



働き方を変えながら目標を絶対達成する方法



(株)アタックス・セールス・アソシエイツ

代表取締役 横山信弘

課題にどう対応するか、部下や上司とどう接するのか、お客さまに商品をお勧めするときのコツは何か、などを各テーマごとにわかりやすく解説。

巻頭言 エッセイスト 岸本葉子

「寝落ちる」体験

政治の潮流

「憲法国会」で成は笑つか

暖流・寒流

財務情報の可視化を急げ

ダイバーシティ通信

「働き方直し」に
取り組み始めた郵便局

歴史散歩 歴史家 加来耕三

茶聖 千利休

茶の湯を芸術の域にまで高めながらも、秀吉によって切腹を命じられた茶聖の物語

日本人ここにあり

作家 出久根達郎

つみの子、かなしく候

〜与謝野晶子〜

切手歳時記

冬季五輪

日本で最初の冬季五輪となった札幌五輪。これにちなんで一九七一年に発行された寄附金つき切手の話。



論より紹興酒

とんかつを見に行く

落語家 立川談四樓

直球曲球

平昌冬季五輪の展望 (雪編)

ドクターに聞く 病気と健康

大腸がん

東京通信病院消化器内科主任医長 関川憲一郎

近年我が国では大腸がんは罹患する人が増え、臓器別のがん死亡数は男性では第2位、女性では第1位である。

わが街わが故郷

秋田県横手市

横手の「かまくら」

「梵天」は長い歴史を持ち、みちのくの冬の風物詩として全国的に知られている。



誰かに教えたくなくなる

科学技術の話

生物を教師とする

バイオミミクリー

世界の国から

ラストフロンティア、ミャンマーより



在ミャンマー
日本国大使館

二等書記官
西澤 聡

簡易郵便局を訪ねて

福岡県 蔵数簡易郵便局

読者プレゼント



鮭の半身燻製
ロッキーサーモン

抽選で30名様に

【編集】
〒131-8139 東京都墨田区押上 1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ 9F
公益財団法人通信文化協会 編集担当